

コース名		科目名			対象学年			
良医の礎		医学研究への扉			2			
開講学期		科目責任者		副責任者		全体資料		
1・2 学期		樋田 一徳		岡本 安雄		有		
授業到達目標								
1) 指導者の指示に従い、コミュニケーションを密にする。 2) 他の人と協調して行動することができる。予め定められた時間と約束を厳守できる。 3) 指導者の指導・助言に基づき、実施可能な研究計画を設定し、研究を遂行する。 4) 実験データや研究知見を指導者と討論する。 5) 研究室のルールを守る。責任を持って、準備と後片付けを行う。 6) 実験、研修の記録をノートに残す。不明な点、失敗・事故の際は速やかに指導者に報告する。 7) 成果を抄録とポスターにまとめ、自らの言葉で説明することができる。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/ 8	月	3	講義	樋田	解剖	医学研究への扉（1）：総合ガイダンス	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2
2	4/16	火	5	講義	齊藤	微生物	研究現場における安全性確保：バイオセーフティ	A-2-1), A-2-2) A-6-1), A-8-1) A-9-1)-1, A-9-1)-2
3	4/22	月	6	講義	石原克	免疫	遺伝子組み換え実験	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2
4	5/ 8	水	6	講義	永井敦	泌尿器	人を対象とする医学研究に関する倫理	A-1-1), A-1-2) A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2
5	5/13	月	6	講義	西松	自然	研究の実際（1）：手続、計画、実施、発表	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2
6	5/23	木	1	講義	沖野	微生物	動物実験	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2
7	6/ 4	火	4	講義	樋田	解剖	医学研究への扉（2）：配属研究室と手続	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2
8	9/ 2	月	4	講義	毛利聡	生理1	中央研究センターにおける研究実施（1）	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2
9	9/ 9	月	3	講義	樋田	解剖	中央研究センターにおける研究実施（2）	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2
10	9/20	金	6	講義	佐々木	腎内	医療機関における研究実施（1）：外来、検査、感染、処方	A-1-1), A-1-2) A-1-3), A-2-1) A-2-2), A-4-1) A-4-2), A-5-1) A-6-1), A-6-2) A-6-3), A-8-1) A-9-1)-1, A-9-1)-2
11	10/ 2	水	6	講義	中田昌	呼外	医療機関における研究実施（2）：手術、診療録	A-1-1), A-1-2) A-1-3), A-2-1) A-2-2), A-4-1) A-4-2), A-5-1) A-6-1), A-6-2) A-6-3), A-8-1) A-9-1)-1, A-9-1)-2
12	11/ 8	金	4	講義	岡本安	薬理	研究の実際（2）：研究データの取扱いと不正防止	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2

13	11/ 8	金	5	講義	樋田	解剖	医学研究への扉(3): 学生学術発表会ガイダンス	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2
----	-------	---	---	----	----	----	--------------------------	--

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	研究課題	コアカリ項目
14~ 157	11/11~ 12/12	月~金	1~6	演習	吉岡	自然	金属酸化物ナノ粒子の合成と評価	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2, B-3-1)-1 B-3-1)-2, B-3-1)-3
					守山	自然	昆虫の脳内時計細胞の同定	
					大橋武	自然	簡易電気分解装置を用いた実験条件の評価とファラデー定数の測定	
					西松	自然	オオサンショウウオのからだだが巨大化したメカニズムの解明	
					松本宏	自然	コンピュータを用いた数値計算	
					小島	自然	マウス雌生殖系における卵細胞顆粒膜細胞機能の解析	
					橋本美	語学	日本における死生観	
					長谷川真	語学	多文化共生社会の推進と医療に関する研究	
					堀江	解剖	生命のスケッチ 2019	
					嶋	解剖	ゲノム編集と次世代シーケンス解析を用いた脾洞内皮細胞の分化メカニズム解明	
					野津	解剖	応用人体解剖学実習	
					中村	解剖	脳内神経回路網の形態学的解析	
					佐藤慧	解剖	透過型デジタル電子顕微鏡による脳内ニューロンの三次元構造解析	
					花島	生理 1	心臓の構造と機能及びバネタンパク質コネクチンの進化生理学的解析	
					橋本謙	生理 1	心筋細胞の分裂・分化の制御メカニズムの検討	
					氷見	生理 2	Parkinson 病モデルラットを用いた脳深部刺激療法 (DBS) の条件検討	
					丸山	生理 2	うつ様モデル動物における Ca ²⁺ シグナル経路の変化	
					岡本秀	生化	急性骨髄性白血病における、抗癌剤抵抗性克服に向けた基礎研究	
					沖野	微生物	マンソン孤虫症の研究	
					堺	微生物	インフルエンザウイルス感染行動の解析	
					後川	微生物	インフルエンザ流行を規定する因子の実験的解明	
					内藤	微生物	ウイルス増殖に関与する宿主細胞性因子の機能解析	
					坪井	薬理	脂質メディエーターを代謝する加水分解酵素の機能解析	
					竹之内	薬理	臓器の線維化の進展を左右する分子の探索	
					石原克	免疫	遺伝子改変マウスを用いた免疫反応・疾患モデル解析	
					郷	病態代謝	生体膜脂質の機能を探る	
吉留	衛生	法医学と毒物検出						

14~ 157	11/11~ 12/12	月~金	1~6	演習	李	衛生	環境中物質の免疫毒性	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2, B-3-1)-1 B-3-1)-2, B-3-1)-3
					李	衛生	繊維・粒子状物質の生体影響	
					増田	医学部	癌促進型 RNA 結合蛋白質の機能ネットワークに着目した新規治療法の開発	
					楠	総合臨床	体外式超音波を用いた消化管運動機能の解明	
					桑原	総合臨床	診療の質を評価する	
					井上貴	救急	西日本豪雨災害における医療機関と保健所の対応	
					山田治	総内 1	片頭痛に対する凍結乾燥豆腐（高野豆腐）療法の効果の検討	
					川中	総内 2	ERCP における偶発症の危険因子の検討	
					越智	総内 4	薬剤耐性肺がんの基礎的研究	
					深澤	総外	3次元培養法を用いたマウス組織由来オルガノイドの作製	
					高岡	総外	周術期サルコペニアに対する栄養管理とリハビリテーションの臨床的意義の解明	
					今井	循内	悪性腫瘍合併心血管疾患患者における予後調査	
					玉田智	循内	心エコー図を用いた不整脈治療後の予後予測因子の検討	
					加藤茂	呼内	抗原特異的免疫グロブリンの測定	
					金岡	心外	1. スtentグラフトの拡張力の研究 2. 血管疾患の非侵襲的診断	
					清水	呼外	癌微小環境分類と免疫チェックポイント阻害薬の効果の検討	
					長洲	腎内	運動による急性腎障害の予防効果の検討	
					長洲	腎内	In vivo imaging を用いた糖尿病性糸球体過剰濾過の評価	
					近藤敏	血内	骨髄増殖性腫瘍における遺伝子変異と細胞生物学的特徴の検討	
					金藤	糖内	エネルギー恒常性維持のための生体反応＝腎・消化管連関＝	
					大平	泌尿器	尿路生殖器疾患に対する病態解明および創薬研究	
					三原	神内	パーキンソン病患者における姿勢/認知二重課題における脳活動変化の検討	
					村上龍	神内	遺伝性神経筋疾患の病態の解析	
					逸見	神内	上眼瞼で複合筋活動電位を記録する新しい顔面神経伝導検査法	
					八木田	脳卒中	脳血管障害における危険因子の検討	
					八木	脳外 1	慢性硬膜下血腫の再発因子の検討	
					目黒	脳外 2	頭蓋内外血管吻合モデルを用いたバイパス手術手技効率化の研究	
北村	精神	精神疾患の認知機能障害にたいする NEAR の効果についての研究						
尾内	小児	小児感染症の起病因原体の分子生物学的検討						
植村貞	小児外科	Nuss 法術後の合併症に関する検討						

14~ 157	11/11~ 12/12	月~金	1~6	演習	石田	産婦 1	胎生期脳における神経・グリア細胞新生メカニズムの解析	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2, B-3-1)-1 B-3-1)-2, B-3-1)-3
					村田卓	産婦 1	がん関連線維芽細胞と子宮頸がん細胞との相互作用に関する研究	
					下屋	産婦 1	SLE 合併妊婦の穿通胎盤における活性化M1/M2 マクロファージによる組織障害の免疫学的検討	
					杉原弥	産婦 1	妊娠高血圧症候群の重症度予測におけるsFlt-1、PlGF の有用性についての検討	
					中村隆	産婦 1	遺伝子組み換え発癌マウスを用いた新たながん治療戦略の開発研究	
					本郷	産婦 2	子宮頸癌由来培養細胞からの genomic DNA 抽出および HPV genotyping	
					佐野力	婦人腫瘍	単純子宮全摘術の進歩と未来	
					佐野力	婦人腫瘍	腹腔鏡手術は本当に低侵襲か？	
					紅林	乳甲外	乳癌培養細胞を用いた治療実験	
					守田	リウマチ	TNF 受容体関連周期性症候群 (TRAPS) の遺伝子変異の機能解析	
					山本剛	皮膚	動物モデルを用いた単純ヘルペスと関連皮膚疾患の病態解析	
					山本剛	皮膚	炎症性皮膚疾患に発汗障害が関連するか？	
					戎谷	形成	局所麻酔下における腫瘍摘出後のドレーンの有無に関する実態調査	
					中西一	脊椎・災害	当院における脊髄損傷患者の疫学調査と合併症の検討	
					日野峻	脊椎・災害	ステロイド性骨粗鬆症の調査および治療有無の調査	
					古市	骨・関節	人工股関節データベースを用いた統計解析	
					河本豊	骨・関節	人工膝関節データベースを用いた統計解析	
					長谷川健	手外科・再建	マイクロサージャリトレーニング	
					玉田利	スポ・外傷	スポーツ外傷に対する低侵襲手術について	
					山本	リハ	急性期脳卒中患者を対象とした嚥下関連筋筋量変化の調査	
					目谷	リハ	足関節制御付き短下肢装具を用いた動作時痙縮評価法の検討	
					原裕	肝内	NASH 肝発癌抑制機構としての mi topagy 誘導	
					松本啓	消内	各種消化管疾患における炎症性サイトカインと腸内細菌叢の研究	
					上野富	消外	ヒト膵臓がん細胞株における抗がん剤と不飽和脂肪酸 DHA の併用効果の検討	
					上野富	消外	ヒト膵臓がん細胞株における抗がん剤と不飽和脂肪酸 EPA の併用効果の検討	
					鎌尾	眼科 1	ヒト iPS 細胞を用いた培養実習	
					長谷部	眼科 2	学童期の近視進行抑制治療に関する研究	
					雑賀	耳鼻	加齢による声帯筋の変化	
					羽間恵	麻酔 1	当院集中治療室における ECMO 導入患者の長期予後の検討	
					櫻井	麻酔 1	輸液速度が輸液投与ルート先端温度に及ぼす影響に関する検討	

14~ 157	11/11~ 12/12	月~金	1~6	演習	西江	麻酔 2	人工股関節置換術後急性期に強い痛みを来たす因子の検討	A-2-1), A-2-2) A-8-1), A-9-1)-1 A-9-1)-2, B-3-1)-1 B-3-1)-2, B-3-1)-3
					片山浩	麻酔 3	集中治療室で持続血液浄化療法を実施した患者の尿毒症マーカーの推移と血液浄化療法の設定条件	
					山口	臨床腫瘍	Tumor Heterogeneity in BRAF-Mutant Colorectal Cancer	
					玉田勉	放診	膀胱癌の筋層浸潤における VI-RADS の有用性に関する検討	
					釋舎	放腫	Voxel-Based Specific Regional System for Alzheimer's Disease (VSRAD) を用いた全脳照射後の脳萎縮の定量評価	
					犬伏	放核	核医学の基本を学ぶ	
					末盛	検査診断 (病態)	PCR ダイレクトシーケンス法を用いた遺伝性有口赤血球症の病因解析	
					辻岡	検査診断 (病態)	新規脱ユビキチン化酵素阻害薬 VLX1570 は急性白血球細胞にアポトーシスを誘導する	
					畠	検査診断 (内・超)	Shear wave elastography を用いた筋硬度測定	
					森谷	病理	乳癌のタイプと、それを取り巻く乳腺組織の特徴に関する病理学的検討	
					森谷	病理	子宮筋層が二層に分かれていることを病理組織学的に検証し、意義を探る	
					横田	非常勤/医福大	メディカルイラストレーションに挑戦しよう	
					西村広	病理	無髄線維の簡便評価法の確立	
					158~ 164	12/13	金	
評価方法								
[その他]100% (抄録・実習日誌提出、ポスター掲示、当日発表の全て揃うのが評価の前提。)								
[評価方法]その他								
[備考]期間最終日(12月13日(金)1~7時限)の「学生学術発表会」(ポスター発表)には必ず出席をする。発表に先立ち、抄録を提出し、ポスターを作成し、自ら発表することが評定の前提となる。当日の発表内容の審査、及び指導教員の評定をもとに、総合的に評価する。発表、審査、評定の詳細は、ガイダンスおよび配布資料(全体資料:医学研究への扉の実施要項)で説明する。								
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて								
演習期間中の実習日誌をフィードバックする。								
教科書								
科目全体の教科書は特に指定しないが、指導教員の助言・指示に従う。								
参考書								
科目全体の参考書は特に指定しないが、指導教員の助言・指示に従う。								
準備学習(予習・復習等)								
指導教員の指示に従う。								
講義についての注意事項								
指導教員の指示に従う。演習の総コマ数は151回。期間中の7限はSLとする。								
昨年度からの変更点・改善項目								
配属教室と指導教員を増員し、個別学習を充実させた。								
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について								
研究マインドの醸成、進んで新分野を開拓する探求心、及び自己研鑽を継続できる医師としての必須事項を涵養する。								

